

事務事業名		とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 施設園芸・果樹栽培の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8823	一般	6	1	3	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H20年度～ 年度		根拠法令 条例等	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会規約					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		3-8			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
栃木県の「とちぎブランドづくり」事業の中で、地域の農産物等を活用した「食の街道」を県内に設置し、栃木県のイメージアップと地域の活性化を図るもので、本市には、野菜、フルーツ等を活用した「とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道」が設定されている。この街道に協議会を設けて道の駅や直売所、観光農園、観光協会等が会員となって地域活性化に取り組んでいる。			(市の活動) とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会に対して負担金を支払った。 また、各種会議・研修会、情報誌作成事業などに参加した。							
			(協議会の活動) パンフレット、情報誌の作成、研修会開催、各種PR事業など。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			会議・研修会・ワークショップの開催	回	10	7	8	8	8	8
			ガイドマップ、季刊情報紙等の発行	回	4	3	4	4	4	4
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			参加団体数	団体	50	48	48	48	48	48
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
「とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会」が自立した団体として地域の活性化を推進する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			会議・研修会・ワークショップの参加者数	人	230	200	200	200	200	200
			ガイドマップ、季刊情報紙等の発行部数	部	100,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)										
施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			施設園芸取扱量	トン	-	1,421	1,565	1,580	1,590	1,590
			果樹栽培面積	a	-	3,427	3,240	3,260	3,280	3,280

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円	100					
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	100	100	100	100	100	
	事業費計(A)	千円	200	100	100	100	100	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	200	負担金	100	負担金	100
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100		
人件費計(B)	千円	389	394	394	394	394		
トータルコスト(A)+(B)	千円	589	494	494	494	494		

事務事業名	とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道推進協議会参画事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	---------------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成20年度に栃木県の主導のもと、佐野、足利と下都賀管内に「とちぎ渡良瀬いちご・渡良瀬フルーツ街道」を創設して、県のイメージアップと地域活性化を推進するために始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市民の「食」への関心がより一層高まり、「食」をテーマとした地域資源の見直しが盛んになっており、県においても「食」を中心としたプロモーションが図られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	各地区の農産物のPRや、異業種間の交流など、参加団体等からは更なる事業発展へ期待が寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 栃木県の「とちぎブランドづくり」事業の中で、地域の農産物等を活用した「食の街道」を県内に設定し、地域の活性化を図るもので、本市の施設園芸・果樹栽培の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 当協議会は、各農業団体、関係施設等とともに、各市町も全て加盟し組織化している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 地域の農産物等を活用した「食の街道」を設定し、地域の活性化を図る取り組みであり、特に果樹等を対象とした地域振興事業であり、施設園芸・果樹栽培の推進に結びつく。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 事業内容は、協議会の総会・幹事会などで、会員内の意見を反映し決定しているが、更に効果的な成果を得るために内容の検討を図る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名 足利佐野めんめん街道推進協議会参画事業 「食の街道」事業として関連があり、当事業と共に参画しているが、事務局や対象が異なるため統合はできないが、「食の街道」としての連携は可能であり、イベント等を行っている。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 事業内容については協議会の総会等により検討・決定し、費用対効果を考慮した予算化に努めているため、財源となる市からの負担金についても、削減の余地が無い。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 市からの負担金のほか、各関係団体(会員)からも会費を徴収し事業運営にあたっており、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 栃木県として「食の街道」事業が終了し、各地域の街道(協議会)が解散する場合、事業終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			